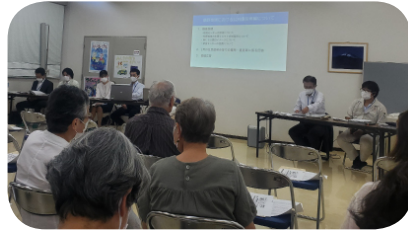


第2回定例市議会（6月27日終了）

↓3人の一般質問の概要です

野口ひろし市会議員

① 中学校給食センター建設問題



（環境センターでの説明会）

摂津市は、鶴野にある環境センターの閉鎖に伴いその跡地を高台の公園（防災機能を備えた）に整備し、そして近くの鶴野第2公園を廃止し、その用地に

中学校給食センターを建設する計画を提案。6月に2回目の説明会が開催。発言者（公園周辺以外の方も）の殆どが中学校給食センターには賛成だが、鶴野第2公園を廃止することは反対との意見でした。こうした状況の中で、
①地元住民の納得と合意を得るために徹底的な話し合いを行うこと。②そして、他に代替え地はないのか。市全体で検討すべきでは。この2点について確認と検討を求めました。

② 自衛隊への若者名簿提供問題

摂津市は、18歳と22歳の若者名簿を7年前から自衛隊に提供しています。その数は述べ1万2889人となりました。そして昨年度から名簿提供を望まない人からの申し出に基づき、この2年間で23人が除外申請を行なっています。この間、自民党や防衛省、総務省からの圧力があり、全国では6割を超える自治体が名簿を提供しています。日本共産党は「市が勝手に人の情報を提供することはやめめるべき。対象者は毎年約1600人であり、除外申

請についてきちんと郵送で知らせ、判断をしてもらうべき」だと訴えました。

③ 補聴器購入に対する助成

東京都港区では、60歳以上を対象に、住民税非課税の人は上限13万7000円（課税の人は上限6万8500円）の助成を実施して全国的にもその取組みが注目されています。また大阪府内では現在3市が実施していますが、泉大津市の取組み（6月から50歳以上、上限5万円）を紹介し、摂津市においても早期実施を求めました。

（その他に2項目質問）

- ①老朽民間住宅の緊急安全措置
- ②サンドライビングスクール横の大正川沿い道路の安全対策

安藤かおる市会議員

① 鳥飼地域における学校の適正規模・適正配置について

問 小規模化が急速に進む鳥飼小学校・鳥飼東小学校の統合などを含む骨子案が示された。統合理由と統合後の新学校について問う。

答（教育総務部長） 単学級は子どもへの教育環境として好ましくない。とくに1学年が10人程度になる状況は避けることが望ましい。また、教職員の負担やそれに伴う子どもへの影響もあり、令和8年4月までに統合する骨子案になった。統合後の新学校では令和8年度以降の入学予定数から単学級となる可能性もある。

↓裏面に続く

猛暑の毎日、体調管理をしっかり。
市政に対するご意見、暮らしの相談など、お気軽にご相談ください

 増永 わき 別府2-22-22 TEL090-9254-7643	 ひろ 豊 千里丘東5-11-6-302 TEL090-3976-5963	 安藤 かおる 鳥飼野々3-24-3 TEL090-1919-3951	 野口 ひろし 昭和園8-11-108 TEL090-7095-4929
--	--	---	---



（7/6の原水禁平和大行進に4人の議員とともにかわそえつつま党大阪7区国政対策委員長も参加）

詳細の内容は、近々発行予定の「市会報告第72号」をご覧ください。尚、増永議員は議会選出の監査委員のため質問はできない決まりになっています。

↓表面からの続き

問 統合後の教職員の配置を問う
答 (教育総務部長) 子どもたちの教育環境の変化への対応や教職員の負担軽減のために、加配教職員の配置を府教育庁と協議を進め、市費の会計年度任用職員の配置割合を増やすなど検討していく。

安藤議員よりの意見 ↓市教委が実施した保護者アンケートでは、適正配置は必要としながらも「子どもの交友関係や通学への課題がある」という回答が多く、また、小規模校ならではのメリッ トを大切にす意見もあり、客観的資料や将来展望を示しつつ、丁寧な説明を行い保護者、学校現場、地域はもちろ んのこと、子どもたちの意見が反映されるよう求める。

②道路・歩道の路面管理について

問 道路の穴ぼこ、水たまりなどの損傷や横断歩道など停止線が消えかけている箇所が目立つ。路面管理を問う。



(モノレール南摂津駅前)

答 (建設部長) 車両からの道路パトロールだけでなく歩行パトロールでの目視点検による確認。ロゴフォームによる市民の情報提供や要望を受け直営作業での簡易補修や修繕工事の発注で対応している。横断歩道や停止線などの路面表示は警察が行うもので、報告と要望など連携を図っている。

安藤議員よりの意見 ↓交通規制の路面標示は交通安全にとって重要。市長会など近隣市とも連携し大阪府警に対して放置されている消えかけた路面標示の対応を求めるべき。

③ベンチや上屋等バス停利用環境の改善について

問 バス停のベンチ等の設置促進のため、バス事業者に対する設置費用補助制度を検討すべきでは。

答 (建設部長) バス停の環境改善は公共交通の利用促進に寄与する。先進事例や利用実態などを注視し検討していきたい。

④PF₆O₄汚染対策は

問 敷地内の汚染地下水の流出を防ぐ遮水壁を設置することだが、これまで企業秘密として非公表だった敷地内の汚染濃度や公共下水道への排水量など明らかにすべきである。大阪府や摂津市もダイキン工業に公表を求めていると聞いているがダイキン工業の答えは？

答 (生活環境部長) 令和5年5月18日に開催したPF₆O₄対策連絡協議会でダイキン工業は大阪府、摂津市の呼びかけに検討する意向を示した。

問 市民の立場で環境省に対し健康調査、疫学調査を強く求めるべきだ。

答 (市長) 基礎自治体独自の調査、疫学調査について検討を求める等市民の代表としてしっかり取り組んでいく。

(その他の質問項目)
 ①安威川ダムの運用と流域住民の安全確保について

ひろ豊市会議員

①新型コロナウイルス感染症の5類移行後の状況について

5月の連休明けから感染症法上の5類相当に引き下げられ基本的対策は季節性インフルエンザと同等の扱いになりました。感染拡大は続き大規模な「第9波」の可能性も指摘されている中、
 ①保健医療体制の確保、必要な検査や療養が受けられるように。
 ②とりわけ高齢者や障害のある人、それにかかわる現場の状況はどうか。
 ③保育施設や学校などは制限が緩んだが基本的な感染対策はしっかりと行うように。

④経済活動は活気が戻りつつあると言われているが中小業者など市内事業所は物価高騰の影響もあり厳しい状況が続いている。実態調査を含め引き続き必要な支援を講じるようにそれぞれ求める。

②国民健康保険制度の府内統一化の課題について

今年度の国民健康保険料の値上げは、来年度の府内統一化に備えるためとのことだが、諸物価高騰でくらしが大変な中で耐え難い負担になっている。コロナでも物価高騰の中でも保険料値上げを押し付け、市町村に独自減免も認めない、そんな府の方針には断じて従うべきではない。

国民健康保険料モデルケースの金額		
今年度の保険料	昨年度との比較	広域化前(H29)との比較
65歳以上の単身世帯(年金収入が12万円/月)の場合		
2万6324円	2646円増	6820円増
40代夫婦子ども2人の4人世帯(給与所得210万円)の場合		
44万9394円	3万1199円増	7万6366円増

③旧味舌小学校跡地の有効活用について

現在、せつつ幼稚園民営化(あそびまち遊育園)建て替えの仮園舎としている5000㎡の防災空地、8月に新園舎完成後、この先どう活用していくのか検討が必要。また、昨年オープンした味舌体育館にある多目的利用が可能な研修室についても、スポーツ目的以外の利用は極めて限定的で、もっと柔軟に多くの市民が利用できるような運用の見直しを求める。

市民(団体)から議会に対して 請願者や陳情者からの趣旨説明が可能に

この間、議会改革の一環として議論を行ってきました。今後は、「議会に対する様々な請願書や陳情書について、提出者より発言ができる」ことになりました。

①請願者や陳情書者が趣旨説明を希望する時は、定例会前の議会運営委員会の5日前(土曜日、日曜日及び祝日などは除く)までに請願書等(陳情書)と併せて趣旨説明申出書(議会事務局に用意している)を議長に提出。

②6月27日に第2回定例会市議会が終了しました。次の第3回定例会市議会に請願書等を提出し、趣旨説明等を行いたいとお考えの方は、市議会開会前の議会運営委員会が9月1日(予定)ですので、8月25日までに提出。

※詳しいことは、市議会事務局にご連絡をよろしくお願ひします。